

# ON YOUR SIDE REPORT

## 2019.12

### 京都中央信用金庫の現況

2019年度第3四半期（2019年4月1日～12月31日）における経営情報を開示いたします

#### 当金庫の概要（2019年12月31日現在）

本店所在地 / 京都市下京区四条通室町東入  
函谷鉾町91番地  
創立 / 1940（昭和15）年6月18日  
預金積金残高 / 4兆7,281億円  
貸出金残高 / 2兆7,147億円  
出資金 / 203億円  
会員数 / 233,155人  
店舗数 / 129店舗  
職員数 / 2,551人

（注）この四半期ディスクロージャーは、当金庫が自主的に開示するものです。計数につきましては、単位未滿を切り捨てて表示していますので、合計が一致しない場合があります。なお、内容や諸計数については、会計監査人の監査を受けておりません。本資料は、発表日現在において入手可能な情報に基づいております。

# T O P I C S

■2019年10月1日～12月31日

10月

OCTOBER

- ・2020年度入社予定者内定式開催
- ・第16回「中信レディースオープンゴルフ大会」開催
- ・「中信ビジネスフェア2019」（「第31回大商談会」・「第12回中信学生デザインコンテスト」）  
京都ジョブパークと連携し新卒者・若年求職者「合同企業説明会」開催
- ・第122回「中信青年経営者倶楽部」例会開催
- ・合同企業説明会「京都いいな合説（外国人留学生対象）」開催
- ・中信観劇会「京都四条南座」〈喜劇 道頓堀ものがたり〉開催（3日）

11月

NOVEMBER

- ・「ウォームビズ」実施
- ・『目利きマイスター制度』の一環として2019年度下期企業研修の実施（～2020年1月）
- ・「石本 正-京の風土にいだかれて-」開催（中信美術館 1日～12月13日）
- ・京税中信クラブ「第41回関与先企業懇親会」開催
- ・中信青年経営者倶楽部研修旅行 埼玉方面1泊2日
- ・和束出張所 店舗内店舗方式により加茂町支店に移転  
移動金融車「On Your Side号」運用開始
- ・「中信サクセスクラブ」セミナー開催  
『給料や命令だけではできないモチベーションを高めて強い組織を作る方法』
- ・第135回「中信禅サークル」〈妙心寺〉開催
- ・上半期ディスクロージャー誌『京都中央信用金庫の現況 ON YOUR SIDE REPORT 2019.9』発行

12月

DECEMBER

- ・スマホ決済サービス「メルペイ」との口座連携開始
- ・久世支店 ユーシン精機前出張所（店舗外ATM）を新設
- ・「歳末ふれあい募金」公益財団法人 京都新聞社会福祉事業団へ寄託
- ・「京都市若手アーティスト応援プロジェクト」への協賛
- ・太秦支店 新築建替えオープンに伴うコンシェルジュの導入およびセミナールームの設置



石本 正-京の風土にいだかれて-



太秦支店 新築建替えオープン

## 預金・貸出金の状況

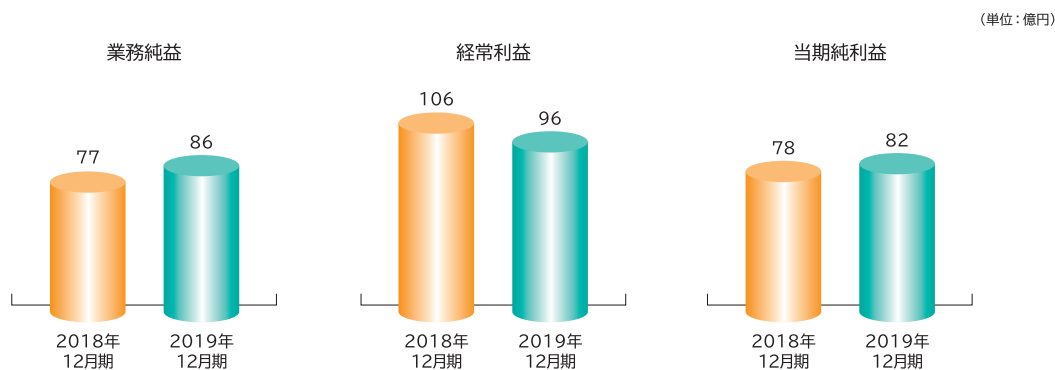
預金積金については、個人預金が順調に推移した結果、2019年12月期の残高は、前年同期比583億円増加し、4兆7,281億円となりました。

貸出金については、事業性資金が順調に推移したことから、2019年12月期の残高は、前年同期比693億円増加し、2兆7,147億円となりました。



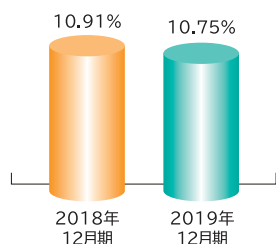
## 損益の状況

2019年12月期における業務純益は前年同期比9億円増加し86億円となりました。また、経常利益は前年同期比9億円減少し96億円、当期純利益は同3億円増加し82億円となりました。



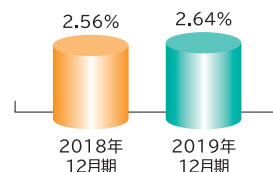
## 自己資本比率の状況(単体)

2019年12月期の自己資本比率は、内部留保額を積み上げたものの、リスク・アセット等が増加したこと等により、前年同期比0.16ポイント低下の10.75%となりましたが、金融機関の健全性を示す基準となる水準(国内基準4%)を大きく上回っております。



## 開示債権の状況

2019年12月期の金融再生法開示債権のうち正常債権を除いた合計額は717億円、金融再生法開示債権全体に対する比率は2.64%となりました。



(注) 本計数は、発表日現在において入手可能な情報に基づいております。

## 預金・貸出金の状況

(単位：億円)

	2018年12月期	2019年12月期	増減
預金積金(A)	46,698	47,281	583
貸出金(B)	26,454	27,147	693
預貸率(B÷A)	56.64%	57.41%	0.77%

(注)本計数は、発表日現在において入手可能な情報に基づいております。

## 損益の状況

(単位：億円)

	2018年12月期	2019年12月期	増減
業務純益	77	86	9
経常利益	106	96	△9
当期純利益	78	82	3

(注)本計数は、発表日現在において入手可能な情報に基づいております。

## 自己資本比率の状況(単体)

(単位：億円)

	2018年12月期	2019年12月期	増減
自己資本額(A)	2,574	2,660	86
リスク・アセット等(B)	23,594	24,749	1,155
自己資本比率(A÷B)	10.91%	10.75%	△0.16%

(注1) 自己資本比率の算出方法を定めた「信用金庫法第89条第1項において準用する銀行法第14条の2の規定に基づき、信用金庫及び信用金庫連合会がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準(2006年金融庁告示第21号)」に基づき算出しております。なお、当金庫は国内基準により自己資本比率を算出しております。

(注2) 本計数は、発表日現在において入手可能な情報に基づいております。

## 開示債権の状況

(単位：億円)

金融再生法による 開示残高	2018年12月期	構成比	2019年12月期	構成比	増減
破産更生債権及び これらに準ずる債権	85	0.32%	82	0.30%	△3
危険債権	546	2.06%	597	2.20%	51
要管理債権	47	0.18%	37	0.14%	△9
小計	679	2.56%	717	2.64%	38
正常債権	25,855	97.44%	26,502	97.36%	646
合計	26,535	100.00%	27,219	100.00%	684

(注) 本計数は、発表日現在において入手可能な情報に基づいております。